



さぽナビ

第12号 2011年12月発行

のしろ市民活動 読み手の立場で伝わるように いろは塾第3回



しおりとしても使えるフリーペーパー「ハト北方」を紹介

22日、市中央公民館でのしろ市民活動いろは塾の「市民活動のための広報術習得講座」を開催しました。「そのチラシ、伝わっていますか？チラシデザインのおひけつ」と題し、秋田市のイラストレーター須田剛光さんを講師に迎え、チラシのデザインに対する知識を深めました。

デザインに織り込まれている技と知恵を学んで、受け手の心に届く魅力的なチラシづくりをお手伝いしようという企画で、能代市はもとより藤里町や八峰町から10人余が受講しました。

須田さんは秋田市の秋田拠点センターアルヴェ内にある市民活動センター「市民交流サロン」に勤務、「アルヴェ市民活動連続講座」「もちよりカフェ」をはじめ



伝わりづらい事例がちりばめられたチラシを評価してみる

め、講座やイベントのチラシを手がけています。

講座では、須田さんが作成した「伝わりづらいチラシ」を参加者に配布して、その感想をみんなに記入していく作業に取り組み、「文字の大きさに変化がない」などデザインに関する内容のほか、「タイトルにインパクトがない」といった指摘が出されました。

続いて、これまで作成してきたチラシについて経過をたどりながら失敗例を用いた説明がありました。「パソコンのデザインソフトで作成するのが主流となっているが、強調したい部分に手書きを加えてみる」「パンフレットラックに大量に陳列される場合は一部しか見えないので、



過去の作品の失敗談を中心にした話には説得力があった

チラシがどのような場所に置かれるかをあらかじめ考えておく」などのアドバイスをいただきました。また、「チラシを作る前に自分たちの活動をもっと一度整理する」「イベントに対する熱意がチラシにあらわれる」ことを強調していました。

参加者からは「どんな視点で作ることがポイントなのか見えてきました」「一人よがりになりがちなので勉強になりました」という感想が寄せられました。

市民活動団体にとって、チラシは大切な情報発信ツールです。これからもチラシづくりについての講座や情報交換の機会を設けていく予定です。

センターからのお知らせ

パワーポイントの基本的な使い方を学びましょう

パワーポイント（バージョンは2010）の初心者、未経験者のための個別相談を随時受け付けております。

パワーポイントとは、マイクロソフト社の製品で、プレゼンテーション用資料を効率よく作成するソフトの一つです。言葉（文字）による説明のほかに、表、グラフを用いてより説得力を持たせたり図やアニメーション、音声などによりインパクトのあるプレゼンテーションにしたりなどの工夫ができます。

会議、学校の授業、講演会や発表会、企画提案、商品販売、広報宣伝で広く利用されており、市民活動では団体の活動紹介、補助金や助成金の審査会で事業の説明をする際に使われています。

対象は、能代市内で市民活動を行っている個人で、マウスが使える、キーボードで文字が打てる方です。

受講希望の方は、事前に電話でお申し込みください。希望日時などをうかがい、日程の調整をいたします。受講料は無料です。

市民活動のための助成金情報

環境

環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な環境のまちづくりを推進するため、市民の自主的活動を支援する補助制度を実施しています。

制度名：平成23年度 環境のまちづくり推進市民活動支援事業

対象団体：次の要件を満たす3人以上で組織された団体 ・主たる活動の拠点が市内にあること ・代表者や構成員の過半数が、市内に住所を有し、市内の学校に通学もしくは市内に勤務する人であること ・営利的活動を目的としていないこと

対象事業：市民の環境意識を高めるための取り組みや資源循環の仕組みづくりにつながる取り組み／資源循環に関する普及啓発や地域活動／風力・太陽光・バイオマスなどのエネルギー導入に関する調査研究 など

助成金：事業費の3分の2 ・勉強会など学習活動のみは2分の1 ・補助額は8万5千円が上限

応募締切：平成23年5月31日(火) *予定件数に満たなかったため、追加募集します。(先着順)

問合せ：能代市 環境産業部環境企画課 TEL0185-89-2178

関連URL：能代市ホームページ

<http://www.city.noshiro.akita.jp/>>産業・まちづくり>環境>平成23年度 環境のまちづくり推進市民活動支援事業補助金のお知らせ

緑化活動

森づくりに対しての県民の関心を高め、県民参加の森づくりを推進するため、県民が自ら企画・立案・実行する森づくり活動を広く募集する。

制度名：平成24年度森づくり県民提案事業

対象団体：1. 法人格を有する団体(NPO法人等)、企業、組合、学校教育法第1条に定める学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学及び高等専門学校)、保育園 2. PTA、自治会等の地域住民団体 3. その他各種ボランティア、大学等の学生や若い世代で構成するグループなどの任意団体(ただし、規約等が定められており、総会等が開催されている非営利団体とする)

対象事業：森林の手入れや森林の中で行う体験活動や自然観察会など、森づくりへの関心を高め、県民参加の森づくりを推進する取り組みを支援します。

例)・植樹、下刈り、枝打ちなどの森林の保全活動 ・子どもたちを対象とした森林教室 ・間伐材などを利用した木工教室

助成金：・一件あたりの補助上限額は40万円です。 ・補助対象経費について10分の10以内で補助します。

応募締切：2月10日(金)

問合せ：県 山本地域振興局農林部森づくり推進課 林業振興班 TEL0185-52-2181

県 農林水産部森林整備課 調整・森づくり班 TEL018-860-1750

関連URL：秋田県水と緑の森づくり税

<http://common.pref.akita.lg.jp/mizumidori/>>平成24年度森づくり県民提案事業の募集を開始します！

この他にも助成金情報がありますので、支援センターまでお問合せください。

1/15

ふゆの芸術体験広場 昭和のお正月だよ！

暖かい部屋で手作りの「福笑い」や「双六」をして遊んだり、おとな対こどもで「囲碁」や「将棋」を指してみませんか。昭和のこどもたちと平成のこどもたちとで小正月を楽しみましょう！ プログラム：「いろいろな顔を作ってふくわらいしよう！」「世界にひとつだけのすごろく作ろう！」「囲碁でしろくろつけよう！?」「将棋は駒と駒の戦い いざ勝負！」

お知らせ掲示板

日時：1月15日(日) 13:00~15:00

場所：旧金勇

対象：幼児~おとな(幼児は保護者同伴)

定員：1プログラム10人(計40人) ※1人で2つのプログラムには参加できません。

参加費：1プログラム1人300円(幼児の保護者の方も参加になります)+材料費1プログラム1人100円

申込・問合せ：子どもの芸術体験広場実行委員会

TEL080-1809-1040(大山さん)

